

東部地域住民自治協議会

環境保全部だより 第20号

2018年3月31発行

東部地域住民自治協議会

環境保全部会

伊賀市緑ヶ丘東町920

上野東部地区市民センター内

TEL・FAX 24-3999

環境学習会

「水の都・大垣市」見学



11月10日（金）、午前8時から参加者42人を乗せたバスが大垣市に向け出発し、10時過ぎに奥の細道むすびの地記念館に到着。大垣市は全国でも有数の自噴帯に位置し、豊富な地下水の恵みにより平成7年度、国土交通省より「水の都」に認定されています。

その湧水が人々とどのように関わり、活かしてきたかをボランティアガイドさんから講義を受けました。以前は各家庭で井戸槽（いどぶね）を持ち生活していたことや湧水の原理を学び、井戸水により炊事、洗濯はもちろん和菓子、わさび栽培、精密機械、酒産業に活用し、また水運稲作栽培にも活かされていました。

ただ良いことばかりではなく豊富な水の負の面として「水害」との危険性も背中合わせで、株井戸の制度（水の権利）、工場でのくみ上げ制限などルールを決め、水害対策として水屋、水門、排水機、陸閘門（りくこうもん）、などの対策が取られたとの説明を受け、皆さん熱心に耳を傾けメモを取りながら活発に質問も出されて有意義な研修会を持つことが出来ました。

午後から2班に分かれ、ボランティアガイドさんの説明を聞きながら水門川沿いの「ミニ奥の細道」を見学し、「むすびの泉」の井戸からこんこんと湧き出る水の量を見て皆さんびっくりです。

当日は小春日和に恵まれ、大垣城周辺を歴史にも触れながら楽しく自由散策して帰路に着きました。車中から高い石垣の家々を見て先人の知恵に感心しながら、水の大切さと怖さを改めて痛感した1日でした。



環境セミナー「食品ロス」に参加

2018年2月3日(土)、午前10時からさくらリサイクルセンターにて開催された伊賀市環境保全市民会議主催の環境セミナー「食品ロス」に参加しました。講師は三重県環境学習情報センター 環境学習推進員 脇谷奈美さんです。

日本では年間2,775万トンの食品廃棄物等が出され、このうち食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は621万トンとのこと。その中で、レストランや各種イベントよりなんと一番多い282万トンは「家庭」からのものと聞いて、参加した30名の方は「えっー!」っと驚いていました。

続いて各テーブルで食品ロスの経験や対策を話し合い、「サツマイモは土をまぶして新聞に包み暖かい所での保管が良い」と発表されると「そうなんや、早速やってみよう」と口を揃えていました。消費期限と賞味期限も考え、買い物は必要な量だけ購入し、調理で作りすぎない、余ったら作り替えるなど工夫し冷蔵庫のチェックも大事だと脇谷さんは話されました。

最後に年間2.7万トンのごみ処理の施設を見学しました。ごみピット内の大量のごみを目の当たりにして、一人ひとりが「もったいない」の気持ちを持つことの大切さを強く感じました。



環境講座「アクリルたわし作り」

9月8日（金）、午後1時30分から東部地区市民センター3階ホールにおいて、環境講座「アクリルたわし作り」を開催し36名の方が参加しました。

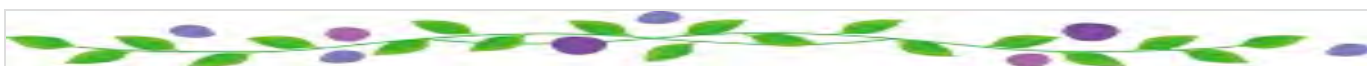
講師に「ハンドクリエイター」の資格を持ちキャリア10年の今坂妙子さんを迎え、さあチャレンジスタートです！

たくさんの参加者に最初は「教え方や教わり方」にお互い少し戸惑いもありましたが、慣れてくると皆さん必死に編み込んでいき、途中で分からなくなると、「先生！、先生！」と手を挙げて今坂さんは引っ張りだこです。終わりに近づくとあちこちから、「もう少しだわ」、「これで帰って仕上げられるわ」など様々ですが、「マイアクリルたわし」の完成です。

アクリルたわしは洗剤なしで食器、茶渋、鏡、湯垢などいろんな汚れを落とし、生活污水の減少、水の節約など経済的にも良く環境にやさしい優れものです。アクリル100%の毛糸は、1本1本の細い繊維が互いに空間を持ちながら絡み合っているため、食器の表面への摩擦抵抗が大きく、石油製品の「親油性」も加わり汚れをよりたくさん掻き出すことができます。

「えっ、うそー！」と思われる方は、ぜひ一度お試しください！一人でも多くの方に使っていただき、めだかなどが住むきれいな川に戻したいものです。

講師の今坂さん本当にありがとうございました。



アクリルたわしの使い方



アクリルたわしに、水かぬるま湯を含ませて使います。

フライパンなど油汚れがひどいもの場合は、洗う前にキッチンペーパー等で拭き取ってから洗います。

みんなで楽しくグリーンウォーク

第1回・2回グリーンウォーク(矢谷川周辺) 4月2日(日) 6月4日(日)

第3回グリーンウォーク(緑ヶ丘周辺) 8月6日(日)

第4回グリーンウォーク(上野旧町部) 10月1日(日)

10月1日(日)、午前7時から第4回グリーンウォークを実施しました。当日は秋らしい爽やかな朝を迎え、愛染院北側の農人町交差点広場に環境保全部会員と地域のボランティア29名が参加しました。4つのコースに分かれ三々五々清掃活動をスタート。

表通りは目立ったゴミは少なくなったものの、裏通りの空き家前や深い溝からは、ペットボトル、空き缶、空き瓶、ナイロン袋、ライター、アルミホイールなど多数回収し、一向になくならないタバコの吸い殻にはほとんど呆れ果てます。

ボランティアの皆さん早朝よりご協力ありがとうございました。



第5回・6回グリーンウォーク(矢谷川周辺)12月3日(日)、3月4日(日)

12月3日(日)、午前8時から第5回グリーンウォークを実施しました。空気も冷たく感じる肌寒い朝を迎え「くれは水辺公園・秋の広場」に環境保全部会員と地域のボランティア20名が集まり清掃活動を行いました。

土手や護岸は霜で滑りやすいため、慎重に気をつけながらの作業です。そんな中で、空き缶、空き瓶、ペットボトル、傘、アクリルの波板や、自転車、コピー機、自動車のバンパーまで多数回収しました。拾い集めたゴミを分別し作業は9時30分に終了しましたが、軽トラックの荷台は溢れんばかりの不法投棄の山となり一同啞然としました。

ボランティアの皆さん早朝よりご協力ありがとうございました。



さわやかな空気の中で健康づくりに、
地域の人々のふれあいを深めるために、
クリーンウォークに
多数のご参加をお待ちしています！！